

2022（令和4）年 東京大学大気海洋研究所「大気海洋科学サマー・インターンシップ」 テーマ一覧

	教員氏名（職名）	日程	実施場所	定員	テーマ名	新型コロナウイルスの感染拡大状況により、対面での実施が難しい場合	研究内容	研究室URL等
1	佐藤正樹（教授） 宮川知己（准教授）	2022（令和4）年8月初旬～9月下旬の期間の間の2日間、日程は希望者との協議の上、決定します。	大気海洋研究所（柏キャンパス）	6名	全球非静力学大気モデルNICAMによる数値実験	オンラインで実施	全球非静力学大気モデルNICAMの方程式系・差分法・構造の理解、およびNICAMを用いた台風等の数値実験、解析を行う。	https://cesd.aori.u-tokyo.ac.jp/satcho/index-j.html https://cesd.aori.u-tokyo.ac.jp/nicam/index.htm
2	伊藤進一（教授）	8月30日（火）～31日（水）の2日間（日程は希望者との協議の上、多少移動することも可能）	大気海洋研究所（柏キャンパス）	5名	地球温暖化の海洋生物への影響を数値モデルを用いて探る	オンラインで実施	地球温暖化が進行する中、魚類はどのような影響を受けるのでしょうか。多くの魚類について、産卵場や回遊様式は未だ未知な部分が多く、数値モデルを用いて地球温暖化の影響を評価する実験を体験します。	http://lmr.aori.u-tokyo.ac.jp/feog/ito/index_internship_summer.html
3	安田一郎（教授） 柳本大吾（助教）	8月上旬から9月下旬までの1-3日間、日程は希望者との協議の上、多少移動することも可能。	大気海洋研究所（柏キャンパス）	3名程度	海洋大循環と海洋混合過程	オンラインで実施	海洋深層循環は海洋乱流混合によって駆動・循環や分布が決まる。海洋循環や駆動する仕組みを学ぶとともに、海洋現場観測データや観測機器に触れることで、海洋物理学研究の最前線を知る。	http://omix.aori.u-tokyo.ac.jp/overview/greeting/
4	濱崎恒二（教授） 吉澤晋（准教授） 塩崎拓平（准教授）	8月上旬から9月下旬までの3日間、日程は参加者との協議の上、決定します	大気海洋研究所（柏キャンパス）	6名	海洋微生物の新種を探そう！	オンラインで実施	海洋微生物の分離や遺伝子解析・同定作業を通して、微生物研究の基礎的手法を学習するとともに、新種微生物種の発見を目指します。	http://ecosystem.aori.u-tokyo.ac.jp/microbiology-wp/ https://genedynamics.aori.u-tokyo.ac.jp/
5	小島茂明（教授） 狩野泰則（准教授）	8月上旬または下旬の連続した3日間（日程は 応相談）	大気海洋研究所（柏キャンパス）	6名	深海生物の分散を遺伝子で調べる	実施しない	個体の移動を観察できる陸上生物と違って海洋、特に深海の生物がどのように分布を広げていくのか直接追跡するのは困難です。今回の実習では核DNA上のマイクロサテライトを解析することで、この課題に挑みます。	http://www.edu.k.u-tokyo.ac.jp/benthos/
6	青山潤（教授）、福田秀樹（准教授）、田中潔（准教授）、峰岸有紀（准教授）、平林頌子（講師）、早川淳（助教）、大土直哉（助教）	9月6-8日の3日間を基本とし、応相談	国際・地域連携研究センター 地域連携研究部門 大槌研究拠点（岩手県大槌町）	5-10名	沿岸海洋学・海洋生物学への招待	オンラインで実施	2018年に再建した大槌沿岸センターにおいて、船舶を用いた海洋環境観測、地引網による魚類試料採集、底生生物の標本作り実習、三陸の地層巡検等を行う。天候によっては内容が変更となる場合がある。	
7	沖野郷子（教授） 秋澤紀克（助教）	3日間、日程は希望者と協議する。	大気海洋研究所（柏キャンパス）	3名	海底熱水系への招待	実施しない	沖縄の海底熱水系付近の地形データを解析し、海底火山地形の様子を調べ、熱水噴出孔がどのような場所に位置するかを考える。また、熱水変質した岩石の観察を行い、地球物理・化学両面から海底熱水循環について学ぶ。	
8	横山祐典（教授） 黒田潤一郎（准教授）	2022年8月5（金曜）、6（土曜）	大気海洋研究所（柏キャンパス）	6名	現在と過去の地球環境と生物の科学	実施しない	現在の環境や過去の環境動態の研究について学習するとともに、実際に水や固体試料の分析、顕微鏡による観察などを行う。	